

資料提供
令和元年6月10日
課名 道路整備課
担当者 吉田
内線 3896
直通電話 082-513-3904

第3回「一般国道191号道路法面崩壊検討会」及び「今後の法面对策のあり方検討会」の開催について

1 要旨

平成30年6月6日（水）に一般国道191号において発生した道路法面崩壊を受け、「一般国道191号道路法面崩壊検討会」を設置し、被災原因の究明、復旧工法の検討、再発防止に向けた今後の法面对策のあり方について検討してきた。

これまで検討してきた内容について、県下全域にわたる検討を行っていくため、新たに「今後の法面对策のあり方検討会」を設置することとし、第3回「一般国道191号道路法面崩壊検討会」の開催と合わせ、6月12日（水）に第1回検討会を開催する。

2 検討会の概要

(1) 日時

令和元年6月12日（水） 10:00～（1時間半程度）

(2) 会場

広島県庁 北館4階 第2委員会室

(3) 「今後の法面对策のあり方検討会」構成委員

所属	役職	氏名	備考
広島大学防災・減災研究センター	特任教授	土田 孝	「一般国道191号道路法面崩壊検討会」委員長
広島大学大学院総合科学研究科	教授	海堀 正博	「一般国道191号道路法面崩壊検討会」委員
広島工業大学工学部	教授	森脇 武夫	「一般国道191号道路法面崩壊検討会」委員
福山大学工学部	教授	田辺 和康	「一般国道191号道路法面崩壊検討会」委員
呉工業高等専門学校	教授	重松 尚久	「一般国道191号道路法面崩壊検討会」委員
国土交通省 国土技術政策総合研究所	室長	渡邊 一弘	「今後の法面对策のあり方検討会」から出席
国立研究開発法人 土木研究所	上席研究員	浅井 健一	「今後の法面对策のあり方検討会」から出席
オブザーバー			
国土交通省 中国地方整備局	地域道路調整官	和田 昌也	「今後の法面对策のあり方検討会」から出席

(4) 検討内容

- ・「斜面勾配」「斜面高さ」を指標として抽出した斜面の危険度区分評価について
- ・抽出した斜面データを基にした危険度評価の進め方について

(5) 今後の予定

抽出した斜面について現地状況、被災履歴、地質条件などを踏まえた危険度評価を速やかに実施し、その結果を踏まえ、路線の重要度を加味した総合評価を行い、法面の整備方針や効率的・効果的な法面点検手法等について検討していく。

(6) その他

- ・取材は、検討会の冒頭あいさつまでとさせていただきます。
- ・検討会終了後、会場にて個別取材対応を予定しております。